

# 新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル



令和4年6月10日

豊田市コンサートホール・能楽堂

公益財団法人豊田市文化振興財団

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を大きく変えました。しかし、新しい生活様式に基づく行動や、適切な感染予防対策によって、安全にイベント等が開催できるという考え方が示されています。劇場・ホールは特に多くの人が集まる施設ですが、当館では、安心して施設をご利用いただけるよう、公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版（令和 3 年 10 月 15 日改定）」に基づき、より具体的な感染予防対策のマニュアルを策定しました。施設利用の際には必ずご確認ください。

なお、本マニュアルの内容は、今後の感染の動向のほか、国の対策方針の変更や専門家の知見等により、必要に応じて適宜改定を行うものといたします。

## 【目次】

1. 施設利用における基本的な感染防止策	1
2. 公演開催における具体的な感染対応	2
(1) 事前調整	
(2) 事前周知・広報	
(3) 客席の配席（収容率）	
(4) 公演関係者に関する感染防止策	
(5) 来場者に関する感染防止策	
(6) 会場内での感染防止策	
(7) チケット販売、物販、展示等	
3. 感染拡大への防止策	10
4. 豊田市コンサートホール・能楽堂新型コロナウイルス感染防止策チェック表	11
5. 別紙 1～9	16

# 1 施設利用における基本的な感染防止策

すべての関係者に対し、以下基本となる感染防止策を周知するとともに、必要となる措置を講じてください。

## ① 正しいマスクの常時着用

» マスク使用時には鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用すること

## ② 手指の消毒や手洗いの徹底

## ③ 大声を出さないこと、咳エチケットの徹底

## ④ 相互の社会的距離の確保

## ⑤ 常時換気の励行（来場者を除く）

## ⑥ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限

## ⑦ 厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）の推奨

## ⑧ 検温を励行し、平熱と比べて高い発熱がある場合（※1）や下記の症状等に該当する場合には自宅待機等の対応をとる

» 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状

» PCR等の検査で陽性とされた者との濃厚接触者であり、政府所定の待機期間中である

» 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があり政府所定の待機期間中である、もしくは待機期間中の当該者との濃厚接触がある

### （※1）補足 Q&A

Q：「検温を励行し、平熱と比べて高い発熱がある場合」とあるが、これまでの業種別ガイドラインで記載されていた「37.5度」以上のような目安となる体温はないのか？

A：本マニュアルにおいて、検温の結果を判断する目安として「平熱よりも高い発熱」としたのは、「37.5度」を超えない場合であっても、平熱より体温が高い者はリスクが高いとみなす趣旨です。この趣旨に合致するのであれば、例えば「37.5度以上または平熱より1度高い場合」などといった、一定の数値に基づく運用としていただくことは可能です。

## 2 公演開催における具体的な感染防止対策

公演を行う主催者は前記の基本的な感染防止策を踏まえるとともに、施設使用以前の練習や稽古段階からも同様に対策をしてください。個々の公演の内容等によりその必要性や水準が異なること等に鑑み、各公演ジャンルの統括団体等のより詳細なガイドラインも参照してください。

- ・ クラシック音楽公演運営推進協議会（令和4年5月16日改定）  
「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」
- ・ 緊急事態舞台芸術ネットワーク（令和3年10月21日改定）  
「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」
- ・ 公益社団法人能楽協会（令和2年5月29日）  
「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

以下は公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」を参考に、当館からの要請の例示として掲げるものです。

### (1) 事前調整

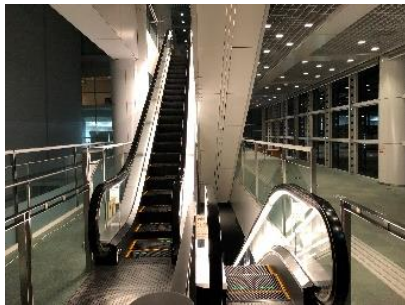
公演主催者は、施設に利用申込みを行う時点、若しくは公演概要を検討する時点で、「接触感染のリスク」「飛沫感染のリスク」「施設の設備的な集客リスク」を踏まえ、以下を含む必要とされる実施概要について当館と協議してください。

- 予定されている公演におけるガイドラインを踏まえた防止策について、具体的な個々の措置と当館及び公演主催者側の役割分担を確認してください。
- 仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定してください。
- 休憩時間や入退場時間は余裕を持った設定をしてください。
- 国・県において示された指針等に基づいて、実施の可否及び実施する際の必要となる感染予防策について対応を検討してください。
- 多目的ルーム等の定員がない施設の利用については、会場の常時換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、密が発生しない程度の間隔（最低限、1 m程度の間隔）を空けてください。
- 公演を中止せざるを得ない事態に至った場合は、当館に連絡ください。

## (2) 事前周知・広報

以下についてスタッフや出演者に周知するとともに、来場者に対しホームページ等でも公表してください。

- 基本となる8つの感染防止策（「1 施設利用における基本的な感染対策」）
- 来場時の密集回避のご案内
  - ①時間に余裕をもった来場
  - ②経路分散のためのエスカレーター及び階段を使用した来場
  - ③エレベーターの4名定員の厳守



エスカレーター



エレベーター

④中心市街地の「フリーパーキング加盟駐車場」の紹介（5時間フリーパーキング含む）  
※詳しくは[豊田まちづくり(株)]のホームページ <http://www.fm-freeparking.com/> をご確認ください。

- 公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改訂版」に従った取り組みを行う旨

## (3) 客席の配席（収容率）

- 来場者の配席については、できるだけ指定席にするなど、主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。
- 国の事務連絡や各都道府県の対応方針を前提とし、地域の感染の収束状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による大声での歓声、声援、唱和等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員までの配席数（最前列席については下段記述参照。）とすることが可能です。
- 上記以外の公演については、正しいマスク着用と発声の抑制の周知及び事業者による個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率は国の事務連絡や各都道府県の対応方針に従ってください。（異なるグループ間では座席を1席空けますが、親子等の同一グループ（5名以内）では座席間隔をあける措置は不要。すなわち、収容は指針を超える場合もあり得る。）
- なお、ワクチン未接種年齢層や高齢者が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

- 客席の最前列席は舞台上の発声等を伴う出演者の位置から、2 m以上（多目的ルームも同様）置くようにしてください。それが困難な場合は、アクリル遮蔽板の設置などと同等の効果を有する措置をしてください。
- 声楽の場合は、歌唱位置から客席最前列までの距離は最低でも水平距離で3 m以上あけてください。これらが困難な場合には、換気に注意をしたうえでアクリル遮蔽板の設置など同等の効果を有する措置を講じてください。

### 【コンサートホール】

舞台前から最前列席までの最短水平距離は1 m 5 0 cm。

2 列目までの最短距離は2 m 6 0 cm

客席最前列①



客席最前列②



### 【能楽堂】

舞台前から最前列席までの最短水平距離は3 m。

客席最前列①



客席最前列②



### 【多目的ルーム】

別紙参照ください。

**別紙 1** 多目的ルームで本番を伴う利用（一般）

**別紙 2** 多目的ルームで本番を伴う利用（声楽）

#### (4) スタッフ・出演者に関する感染防止策

- 表現形態に応じて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。また、公演自体はもとより、練習・稽古等の段階やリハーサル、公演前後の控室・楽屋等においても、公演関係者間で感染を拡散するリスクがあることから、感染対策を徹底して行う必要があることも十分に認識する必要があります。

別紙3 コンサートホール・能楽堂の舞台利用

別紙4 多目的ルーム・リハーサル室・板の間の練習利用

- 公演時の出演者を除き、施設内ではマスクの常時着用(不織布マスクを推奨)を原則とし、公演前後や演目ごとに手指消毒又はこまめな手洗いを徹底してください。
- 楽屋、控室、板の間、リハーサル室、交流ロビー等でも不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒を徹底し、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。

9階楽屋2



10階控室2



8階板の間



9階リハーサル室2



8階楽屋3・4・5



9階交流ロビー



- 楽屋は密にならないように定員を調整するとともに常時換気を励行ください。なお、必要に応じて二酸化炭素モニター(基準1,000ppm以下)を活用ください。
- ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用するなど、感染防止対策を十分に講じてください。
- 舞台袖、舞台裏などの狭いスペースでの待機時や、洗面スペースや飲食周りなどマスクを外しての利用に際し、各場所に応じた定員制限や会話の制御等を徹底してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。

- その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるとともに関係者の健康管理に努めてください。
- 公演終了後の施設内での打ち上げ、茶話会等はお控えください。

### (5) 来場者に関する感染防止策

- 来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケース（「1 施設利用における基本的な感染防止策」）を事前に十分周知してください。また、その際の振替やチケット代金の払戻等の諸条件については、発売時に告知してください。
- 来場者側の自己検温だけではなく、公演主催者側でも会場入場時に検温等の対策を講じてください。
- 当館は「非接触型温度計」「大型モニター付きサーモグラフィー」を配備していますので、使用を希望する場合はお申し出ください。ただし、数（台数）には限りがあります。
- 平熱と比べ高い発熱を感知した場合は入場の制限をするとともに、別紙5の配布資料を推奨します。
- 来場者に正しいマスク着用を促すように掲示等で周知してください。また、ワクチン接種の有無に関わらず未着用来場者に対しては配布や販売等や、個別に注意等を行うこと等により着用を徹底してください。また、特段の理由なく、マスク着用の指示に従わない場合は、入場を拒む等の対応を検討ください。

#### 別紙5 発熱等の症状がある方の受診・相談について

非接触型温度計



大型モニター付きサーモグラフィー



- 入退場時の密集回避のため、時間差を設けての入退場や入退場導線の分散、案内人員の配置、またメッセージボード等を使用した呼びかけ等により、十分な距離（最低1m）の間隔を確保してください。
- 公演後の出待ちや面会等は控えるように注意喚起してください。
- チケットシステム等の活用により、来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。自由席の場合は、別紙6の様式を使用するなどして着席場所を特定してください。また、



来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

**別紙6** 「来場者連絡先登録フォーム」 または 「来場者確認票」

- 公演中の携帯電話等の抑制案内は、電源オフではなく、接触確認アプリ(COCoA)の作動を妨げないように電源及び Bluetooth を on にした上で「マナーモードかつフライト/機内モード」設定としてください(携帯電話抑制装置の使用はアプリ作動には干渉しません)。
- 配慮が求められる来場者、障がい者や高齢者、ワクチン未接種年齢層等については事前に対応策を検討してください。
- 公演前後の交通機関の分散利用や飲食・会合の抑制等、施設外での感染防止について注意喚起してください。

**(6) 会場内での感染防止策**

**① 接触感染防止策**

- 公演主催者は、会場内の不特定多数が触れやすい場所(別紙7を参照)の定期的な消毒を徹底してください。なお、実施する際は、当館でご用意する消毒セットをご使用ください。

**別紙7** 新型コロナウイルス対策消毒部位リスト

- 会場の出入り口付近(8階～10階エレベーター付近のアトリウム)及びホール内ロビー等に手指用の消毒液を設置していますので、入退場時の利用を周知してください。詳しくは別紙8の図を参照してください。

**別紙8** 施設が講じる感染対策図

手指消毒液(10階アーティストロビー)



手指消毒液(8階アトリウム)



ナッジの表示(8階アトリウム)



- 上記以外で消毒液の設置が必要な場合は公演主催者でご用意ください。

- 入場時のチケットもぎりについては、入口の滞留状況等を想定し、簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認する）するか、係員のこまめな手指消毒（若しくは手袋着用）の徹底かを検討してください。
- チラシ・パンフレット・アンケート等は、据え置きとし来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には係員の手指消毒（若しくは手袋着用）を徹底してください。
- 公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるように周知してください。
- プレゼントや差し入れ、サイン会等は控えてください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限）してください。

## ② 飛沫感染防止策

公演の内容等によりませんが、来場者は原則的には、会場内では一方向を向き静座し、公演中は会話等が想定されないことから、適切なマスク着用を徹底することにより、一定の感染抑制が可能となります。加えて休憩時間や入退場時にも会話の抑制を促し、密集が発生しないように対策を講じてください。また、大声を出す人がいた場合は、個別に注意等を行い、従わない場合は退場を求める等の措置も検討ください。

### 【スタッフ・出演者⇔来場者間の感染防止策】

- 感染リスクが高まるような演出（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は控えてください。
- 来場者の案内や誘導に際しては十分な間隔（最低1m）を取るとともに、不織布マスクを着用してください。
- 来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、換気に注意をしたうえで、アクリル板や透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置し、来場者等との間を遮蔽してください。

案内誘導（能楽堂入口）



販売窓口

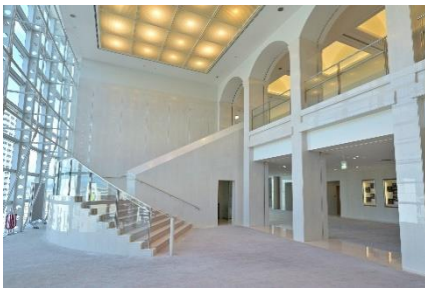


### 【来場者⇔来場者間の感染防止策】

- 施設内ではワクチン接種の有無に関わらずマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布や販売等、また個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設けてください。

- 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するように促してください。スペースを確保するために9階交流ロビーの利用を推奨します。
- 休憩時間や退場時の客席からの移動に際しては券種やゾーンごとの時間差とし、滞留を抑制してください。特に退場時は、ロビーやエレベーター（定員4名）周辺の混雑が予想されますのでエスカレーターや階段の利用を推奨してください。また、参考館（当館入居ビル）においても他施設の来場者に向けて混雑が予想される旨の案内看板を掲示するなどの配慮をお願いすることがあります。
- 休憩時間のトイレでは十分な間隔（最低1m）を空けた整列を促してください。
- 会場内での食事は、長時間マスクを外すことが想定されますので控えてください。

コンサートホールロビー（10階）



能楽堂ロビー（8階）



交流ロビー（9階）



参考館外観



参考館1階①



## (7) チケット販売、物販、展示等

- 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインでのチケット販売や、キャッシュレス決済を推奨します。
- 物販に関わる関係者は、不織布マスクの着用に加え、必要に応じてこまめな手指消毒（手袋着用）を行ってください。
- 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- オペラグラス等の貸出物について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は貸し出しを行わないようにしてください。

- ロビーを使用する催し（パネル等を使用した展示・物販・アンコール曲の掲示等）は、来場者数の収容人数や収容率、休憩時の経路などを考慮し、監視員などを置いて滞留を制御できるように努めてください。

### 3 感染拡大への防止策

当館は、感染者が発生した場合に備えて、速やかに豊田市及び豊田市保健所との連絡体制を整えています。また、発生の際には保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、可能な限り必要な情報を速やかに提供し、保健所の判断により消毒命令が発せられた際には必要箇所の消毒を実行します。公演主催者は、感染が疑われる者がいた場合は速やかに当館に連絡し、対応を協議してください。

- 公演主催者は、スタッフ及び出演者、来場者等について、可能な範囲で氏名及び緊急連絡先を把握し、作成した名簿を一定期間（概ね1ヶ月間）保持するように努めてください。（必要に応じて以下の様式をご活用ください。）  
また、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

**別紙9** 関係者検温・体調管理表

**別紙6** 「来場者連絡先登録フォーム」 または 「来場者確認票」（再掲）

- 個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄してください。
- また、発生した感染者等（含む同居者等。）の情報は要配慮個人情報となるため、その取扱に十分注意してください。
- 当館では、施設内で来場者等から体調不良が訴えられた際の対応について、換気の良い救護室（一時的隔離）や対応する際の不織布マスク・手袋等の備品を準備していますので、必要に応じてご相談ください。
- 公演関係者の感染が疑われる際の対応について、事前に検討を行い、自宅待機や受診等の基準を定めてください。また、基本は、発熱など軽度の体調不良の場合には抗原簡易キットでの検査を促し、検査陽性の場合には、保健所の了承を得た上で、PCR検査等を速やかに実施してください。さらに濃厚接触者の可能性のある者にも検査を促してください。
- 抗原簡易キットの準備にあたっては、令和3年8月13日事務連絡「職場における積極的な検査の促進について」（以下）を参照ください。  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000819118.pdf>
- 感染者発生時の対応についても公表方法や公演実施の基準等を事前に定めてください。

マニュアルに沿った感染防止策を徹底していただくため、以下のチェック表をご利用時までにご提出ください。なお、このチェック表は、国・県の方針に基づき主催者ホームページ等での公表が必要です。ただし、難しい場合はご相談ください。

豊田市コンサートホール・能楽堂新型コロナウイルス感染防止策チェック表

※当館ホームページから上記のチェック表及び別紙1～9までの資料がダウンロードできます。<http://www.t-cn.gr.jp/>

豊田市コンサートホール・能楽堂新型コロナウイルス感染防止策チェック表

※内容を確認の上、該当する項目にチェックを入れてください。

※ご来館時（打合せなど）にご持参ください。

内 容	本番利用 チェック	練習利用 チェック
<b>1. 施設利用における基本的な感染防止策</b>		
すべての関係者に対し、基本となる8つ感染防止策の周知と、必要となる措置 (①正しいマスクの常時着用 ②手指の消毒や手洗いの徹底 ③大声を出さない、咳エチケット ④社会的距離の確保 ⑤常時換気の励行 ⑥飲食の制限 ⑦接触確認アプリ(COCoA)の推奨 ⑧検温の励行や有症状者の対応)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>2. 公演開催における具体的な感染防止対策</b>		
<b>(1) 事前調整</b>		
①各公演ジャンルの統括団体等が作成したガイドラインの確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②予定する催しにおけるガイドラインを踏まえた上での具体的な個々の措置と当館及び公演主催者との役割分担の確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③仕込み・リハーサル・撤去(施設の消毒時間含む)において余裕あるスケジュールの設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④休憩時間や入退場時間の余裕をもった設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤国・県において示された指針等に基づいて、実施の可否及び実施する際の必要となる感染予防策について対応を検討	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥多目的ルーム等の定員がない施設については、会場の常時換気等、必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、密が発生しない程度の間隔(1m程度)を空けた利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⑦公演を中止せざるを得ない事態に至った場合の当館への連絡の想定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>(2) 事前周知・広報</b>		
①来場時の密集回避の案内 (時間に余裕をもった来場、経路分散の来場、エレベーターの4名定員の厳守、中心市街地の「フリーパーキング加盟駐車場」の紹介)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②(公財)全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」に従った取り組みを行う旨の周知	<input type="checkbox"/>	
<b>(3) 客席の配席(収容率)</b>		
①主催者側での客席状況の管理体制(できるだけ指定席)	<input type="checkbox"/>	
②収容率:収容定員までの配席数が可能となる場合 地域の感染の収束状況、公演内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による歓声、声援、唱和等がないことを前提とする公演	<input type="checkbox"/>	
③収容率:国の事務連絡や各都道府県の対応方針に従う場合 ②以外の公演で、マスク着用と発声の抑制の周知及び個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた公演	<input type="checkbox"/>	
④ワクチン未接種年齢層や高齢者が多数来場すると見込まれる公演については感染リスクが高いことから、より慎重な対応を検討	<input type="checkbox"/>	
⑤客席と出演者との距離を2m以上保つ(音楽は3m以上)	<input type="checkbox"/>	
<b>(4) スタッフ・出演者に関する感染防止策</b>		
①公演はもとより、練習・稽古等の段階やリハーサル、公演前後の控室・楽屋等においても公演関係者間で最低1mを目安とした十分な間隔の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②公演時の出演者を除き、施設内ではマスクの常時着用(不織布マスクを推奨)の原則と公演前後や演目ごとのこまめな手指アルコール消毒の徹底	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③楽屋など不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒や、必要箇所への手指アルコール消毒液の設置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④楽屋などが密にならないための定員調整や常時換気対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⑤ケータリングの感染対策（使い捨て紙食器の使用など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥舞台袖、舞台裏などの狭いスペースでの待機時や、洗面スペースや飲食周り等、マスクを外す際の定員制限や会話の制御の徹底	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦機材、備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定多数の共有を制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧練習、稽古、仕込み、撤去などにおける十分な感染防止対策とともに関係者の健康管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨公演終了後の施設内での打ち上げ、茶話会などの制限	<input type="checkbox"/>	
<b>（５）来場者に関する感染防止策</b>		
①来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケース（1施設利用における基本的な感染防止策）の周知とその際の振替やチケット代金の払戻等の諸条件の発売前の告知	<input type="checkbox"/>	
②公演主催者側での会場入場時における検温等の対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③発熱を感知した場合（平熱と比べて高い発熱がある場合）の入場制限の対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④来場者に正しいマスク着用を促し、従わない場合の措置の検討	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤時間差の入退場や動線の確保、人員の配置、メッセージボード等を使用した呼びかけなど十分な距離（1m）の間隔を保持できる対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥公演後の出待ちや面会等制限の注意喚起	<input type="checkbox"/>	
⑦チケットシステム等の活用により、来場者の氏名及び緊急連絡先の把握（自由席の場合の対策含む）	<input type="checkbox"/>	
⑧公演中の携帯電話等の制御案内（接触確認アプリ COCOA の作動を妨げない配慮）	<input type="checkbox"/>	
⑨配慮が求められる来場者（障がい者や高齢者、ワクチン未接種年齢層等）についての対策	<input type="checkbox"/>	
⑩公演前後の施設外での感染防止についての注意喚起（交通機関の分散利用や、飲食の抑制等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>（６）会場内での感染防止策</b>		
<b>【接触感染防止】</b>		
①会場内の不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒体制の徹底	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

②手指用消毒液の設置場所の確認及び利用の周知	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③入場時のチケットもぎりの簡略化（来場者が自らもぎる）又は係員のごまめな手指消毒若しくは手袋の着用	<input type="checkbox"/>	
④チラシ、パンフレット、アンケート等の据え置き（来場者が自らとる）又は係員のごまめな手指消毒若しくは手袋の着用	<input type="checkbox"/>	
⑤公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触制限の周知	<input type="checkbox"/>	
⑥プレゼントや差し入れ、サイン会等の制限	<input type="checkbox"/>	
⑦機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定多数による共有の制限	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定	<input type="checkbox"/>	
<b>【飛沫感染防止】</b>		
①来場者の会場内での適切なマスク着用の徹底と会話の制御、大声を出す人への注意と従わない場合の退場等の措置	<input type="checkbox"/>	
<b>【スタッフ・出演者⇔来場者間の感染防止】</b>		
①感染リスクが高まるような演出の制限（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチ等）	<input type="checkbox"/>	
②来場者の案内や誘導に際しては十分な間隔（最低 1m）を取り、不織布マスクを着用	<input type="checkbox"/>	
③来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、換気に注意をしたうえでのアクリル板や透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置	<input type="checkbox"/>	
<b>【来場者⇔来場者間の感染防止】</b>		
①施設内ではワクチン接種の有無に関わらずのマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布、販売、また個別に注意等を行うことで着用を徹底	<input type="checkbox"/>	
②休憩時間や入退場時間については、会場の収容人数や収容率、入退場経路の経路を考慮した余裕のある時間を設定	<input type="checkbox"/>	
③休憩時間や入退場時における会話抑制や、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留の抑制	<input type="checkbox"/>	



④休憩時間や退場時の客席からの移動に対する滞留制御の対策（退場時のロビーやエレベーター周辺など混雑が予想される場所でのエスカレーターや階段利用の促進案内等）	<input type="checkbox"/>	
⑤トイレでの十分な間隔（最低 1m）を空けた整列の案内	<input type="checkbox"/>	
⑥会場内での食事の制限	<input type="checkbox"/>	
<b>(7) チケット販売、物販、展示等</b>		
①チケット販売時の現金取り扱いの対策（オンライン販売、キャッシュレスなどを推奨）	<input type="checkbox"/>	
②物販や招待受付、当日券販売に関わる関係者は、不織布マスクの着用に加え、必要に応じてのこまめな手指消毒又は手袋の着用	<input type="checkbox"/>	
③サンプル品・見本品の未設置	<input type="checkbox"/>	
④オペラグラス等の貸出物がある場合は、十分な消毒を実施（十分な消毒が行えない場合は貸出不可）	<input type="checkbox"/>	
⑤ロビーを使用する催しは、来場者数の収容人数や収容率、休憩時の経路などを考慮し、監視員などを置いて滞留を制御	<input type="checkbox"/>	
<b>3. 感染拡大への防止策</b>		
①公演主催者は、スタッフ及び出演者、来場者等について、可能な範囲で指名及び緊急連絡先を把握	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②①で作成した名簿は一定期間（概ね 1 カ月間）保持するとともに、必要に応じて保健所等へ提供されることを事前に周知	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④新型コロナウイルス感染症を発症した感染者等（含む同居者等。）の情報は要配慮個人情報となるため、その取扱いに注意	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤公演関係者の感染が疑われる際の対応について、事前に検討を行い自宅待機や受診等の基準をさだめ、抗原簡易キットや PCR 検査を速やかに実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥感染者発生時の対応についての公表方法や公演実施の基準等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

豊田市コンサートホール・能楽堂を使用するにあたり、本マニュアルを確認の上、新型コロナウイルス感染防止に努めます。

《主催者記入欄 □については該当する箇所をチェックください。》

<b>イベント名</b> (開催案内等の URL : _____ )
<b>出演者</b> _____
<b>主催者</b> (記入者 : _____ )
<b>利用日時</b> _____
<b>主な会場</b> <input type="checkbox"/> コンサートホール【定員 1004 席/車いす席 6 席】 <input type="checkbox"/> 能楽堂【定員 458 席/車いす席 3 席】 <input type="checkbox"/> 多目的ルーム <input type="checkbox"/> リハーサル室 <input type="checkbox"/> 板の間
<b>利用形態</b> <input type="checkbox"/> 本番を伴う利用 <input type="checkbox"/> 本番を伴わない利用・練習利用
<b>収容率</b> <input type="checkbox"/> 収容定員の 100%以内 <input type="checkbox"/> 収容定員の 50%以内 <input type="checkbox"/> 収容定員なし⇒密が発生しない間隔（最低限 1 m程度）
<b>参加人数（予定）</b> _____ 人

《当館の記入欄》

《豊田市コンサートホール・能楽堂 確認欄》	
担当者	_____
確認日	_____
許可番号	_____

## 多目的ルームで本番を伴う利用（一般）

### 【舞台として使用する空間について】

- ・客席と演奏者間は発声等を伴う場合、最低 2 m 以上空ける。若しくは、アクリル遮蔽板の設置など同等の効果をもつ措置を講じること。
- ・奏者間は 1 m 以上空ける。若しくは、同等の効果をもつ措置を講じる。

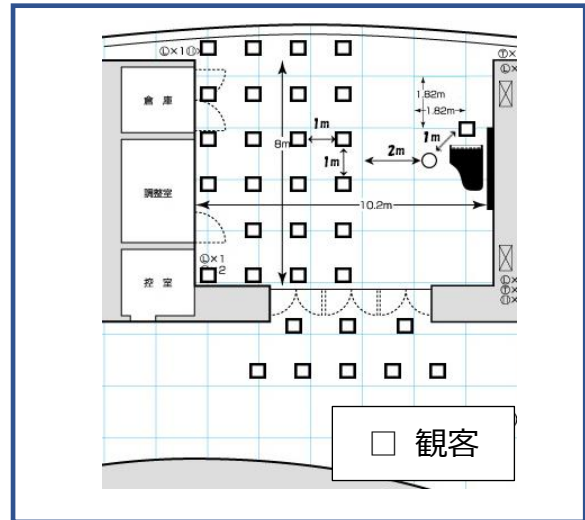
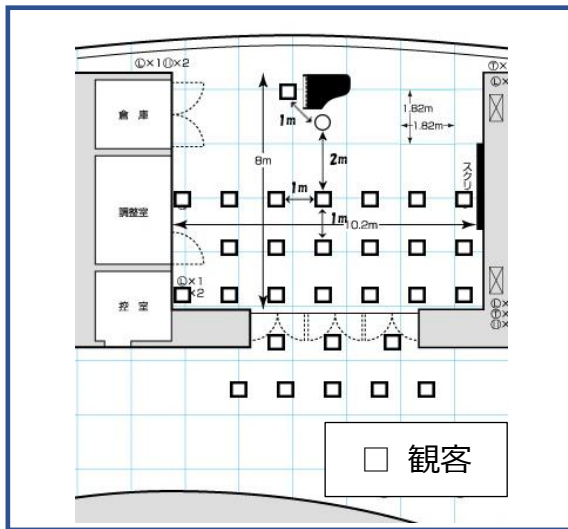
### 【来場者の使用する空間について】

- ・客席と客席間は最低 1 m 以上空ける。若しくは、大声で歓声・声援のないクラシック等の公演等は、会場の常時換気等、必要となる感染対策を総合的に講じた場合は客席の間を通常どおりの間隔で配置することが可能。

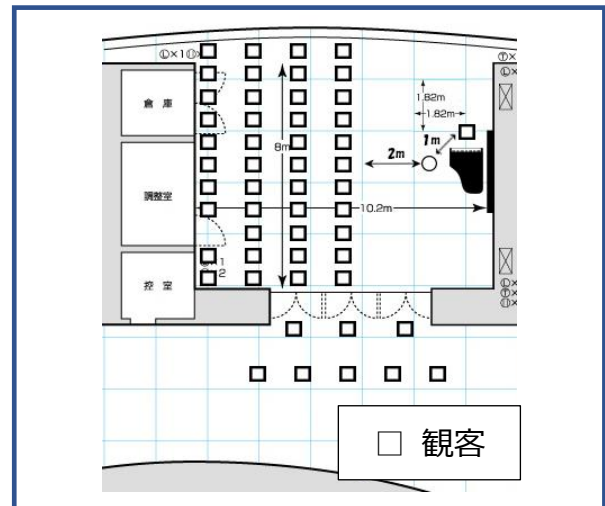
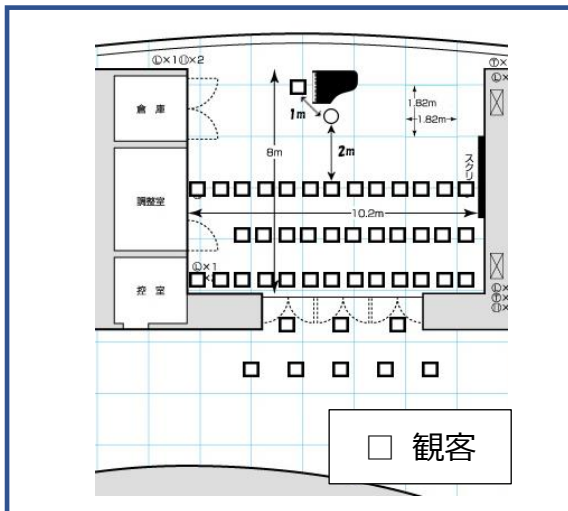
### 【換気対策について】

- ・交流ロビーや多目的ルーム入口の扉は常時空けておくこと。

参考《客席を 1 m 空けたパターン》



参考《客席を空けないパターン》



別紙2

多目的ルームで本番を伴う利用（声楽）

【舞台として使用する空間について】

- ・歌唱位置から客席まで最低3 m以上空ける。若しくは、換気に注意した上でアクリル遮蔽板の設置など同等の効果をもつ措置を講じること。
- ・複数の歌手が出演する場合は間隔を最低1 m以上空け、向かい合うスタイルや激しい体の動きを伴った移動する演出は避けること。

【来場者の使用する空間について】

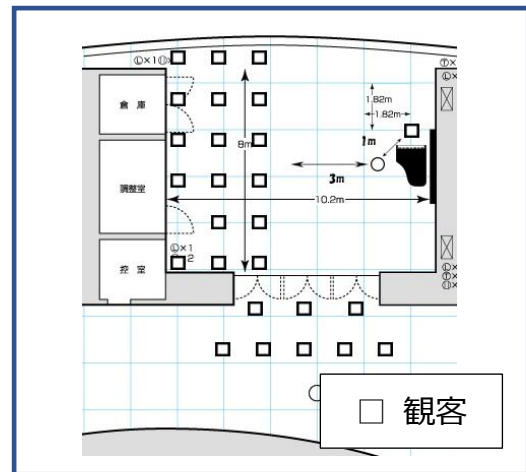
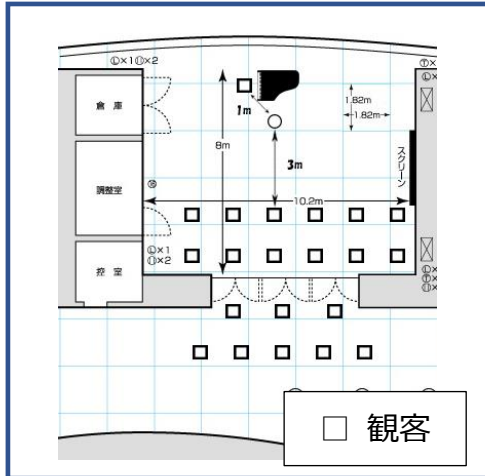
- ・客席と客席間は最低1 m以上空ける。若しくは、大声で歓声・声援のないクラシック等の公演等は、会場の常時換気等、必要となる感染対策を総合的に講じた場合は客席の間を通常どおりの間隔で配置することが可能。

【換気対策について】

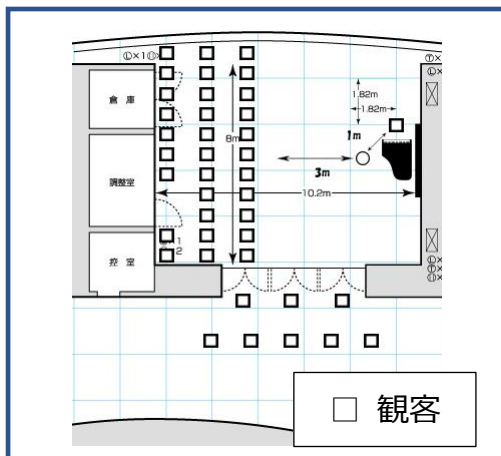
- ・交流口ビーや多目的ルーム入口の扉は常時空けておくこと。

次項 別紙3 コンサートホール・能楽堂での舞台利用《声楽について》を参照すること

参考《客席を1 m空けたパターン》



参考《客席を空けないパターン》



## 【舞台上について】

- ・公演形態における感染予防対策は以下の項目を検討すること。

## 《鍵盤楽器、管弦打楽器について（ソロやデュオ～室内楽、吹奏楽、オーケストラについても含む）》

- ①ソロやデュオ～室内楽では、すべての演奏者は十分な間隔（最低 1 m）を保持すること。
  - ②舞台上の演奏者の位置から客席最前列までの距離について、舞台前方で管楽器の演奏を行う場合は最低でも演奏位置から水平距離で 2 m 以上空ける。それが困難な場合には、アクリル遮蔽板の設置などと同等の効果を有する措置を講じること。
  - ③舞台上に多くの演奏者が出演する吹奏楽、オーケストラ等の場合は以下の点に留意すること。
    - ア 指揮者と演奏者との距離を 2 m 以上空ける。
    - イ 金管楽器は前方の演奏者と距離を最低 1.5m（可能な限り 2 m）以上空ける。
    - ウ 演奏上又は表現上の理由により演奏者間を従来の間隔で演奏する場合は、舞台上の換気の確保により一層留意する、練習時に換気に注意をしたうえで楽器用マスクやアクリル遮蔽板を使用する、リードを単体で吹いたり水抜きの際は布などで飛沫飛散を防ぐ、など複数の手法を組み合わせることで感染リスクを下げるよう努める。尚、水抜きの布などは適切に消毒しビニール袋に入れ密閉して持ち帰ること。
  - ④指揮者・演奏者は舞台上で会話をする際はマスクを正しく着用、若しくは 2 m 以上の距離を保持すること。
- ・能楽堂の場合、演者間は十分な間隔（最低 1 m）を保持する。若しくは、演目や表現上の理由により従来どおりで催す場合は上記③と同等の対策を行い感染リスクを下げるように努めること。

## 《声楽について》

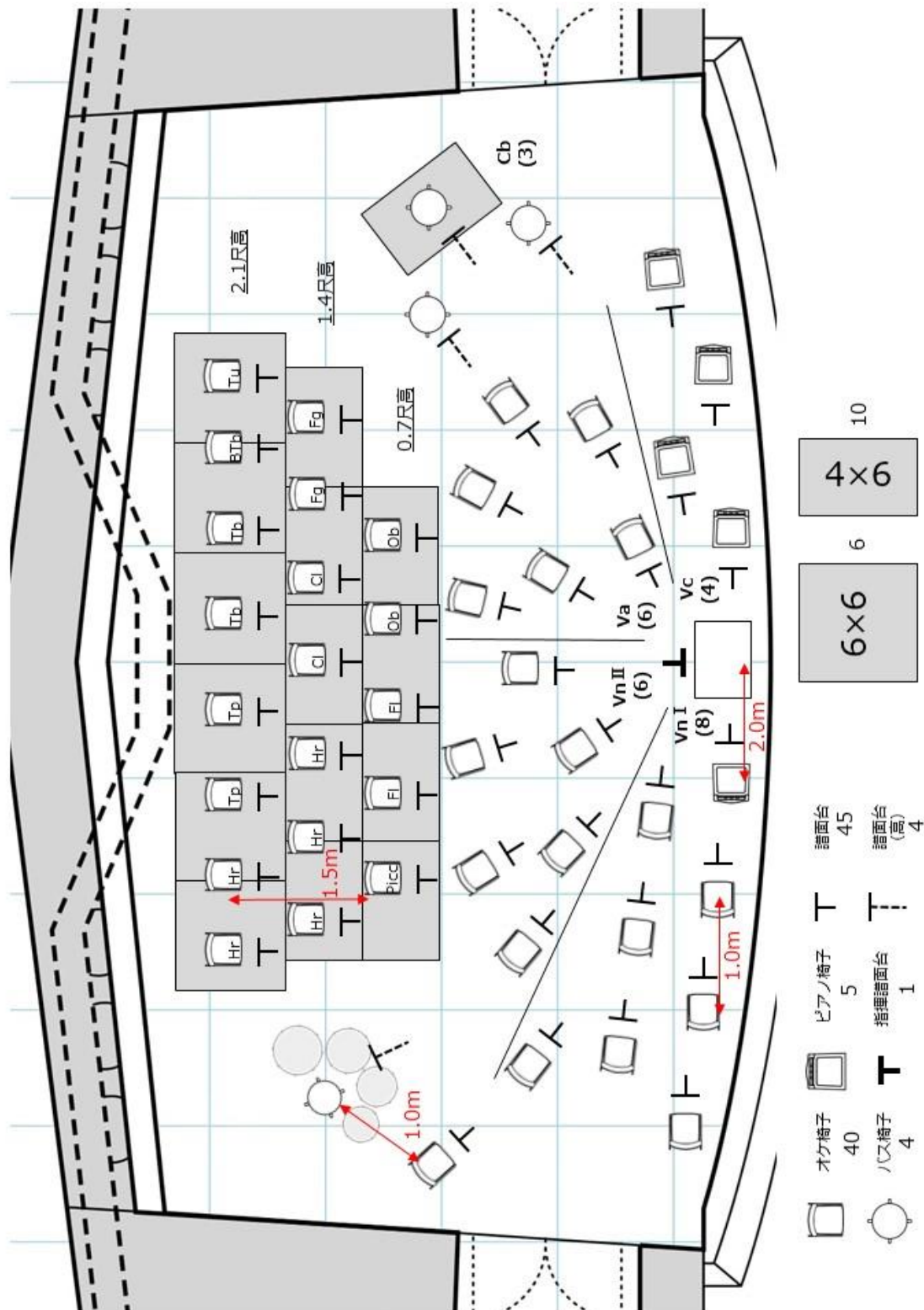
- ・歌唱位置から客席最前列まで水平距離で最低 3 m 以上距離を置くこと。これらが困難な場合には、換気に注意をしたうえでアクリル遮蔽板の設置など同等の効果を有する措置を講じること。
- ・複数の歌手が出演する場合は間隔を最低 1 m 以上空け、近距離で向かい合うスタイルや激しい体の動きを伴った移動しながら歌ったりする演出は避けること。
- ・合唱が出演する公演では、歌手が原則として同一方向を向き、演奏途中で移動しないことを前提に、**列の間が最低でも 1 m の市松模様状**（結果として歌手間の距離は概ね前後 2 m、左右 1 m となる）となるよう編成する。これらが困難な場合には、マスクの正しい着用等と、それらに応じた適切な**対人距離**（歌手間の距離はマスク着用時概ね前後 1 m、左右 50 cm、フェイスシールド又はマウスシールド着用の場合は概ね前後 1 m、左右 1 m とする）を確保するなどの同等の効果を有する措置を講ずること。
- ・声楽に伴う飛沫の飛散は、舞台上の換気状況や湿度・温度等によりリスクが高まる可能性があることを十分に認識し、**適切な換気**など総合的な対策を講ずるよう努めること。

《オペラ等の総合舞台芸術について》

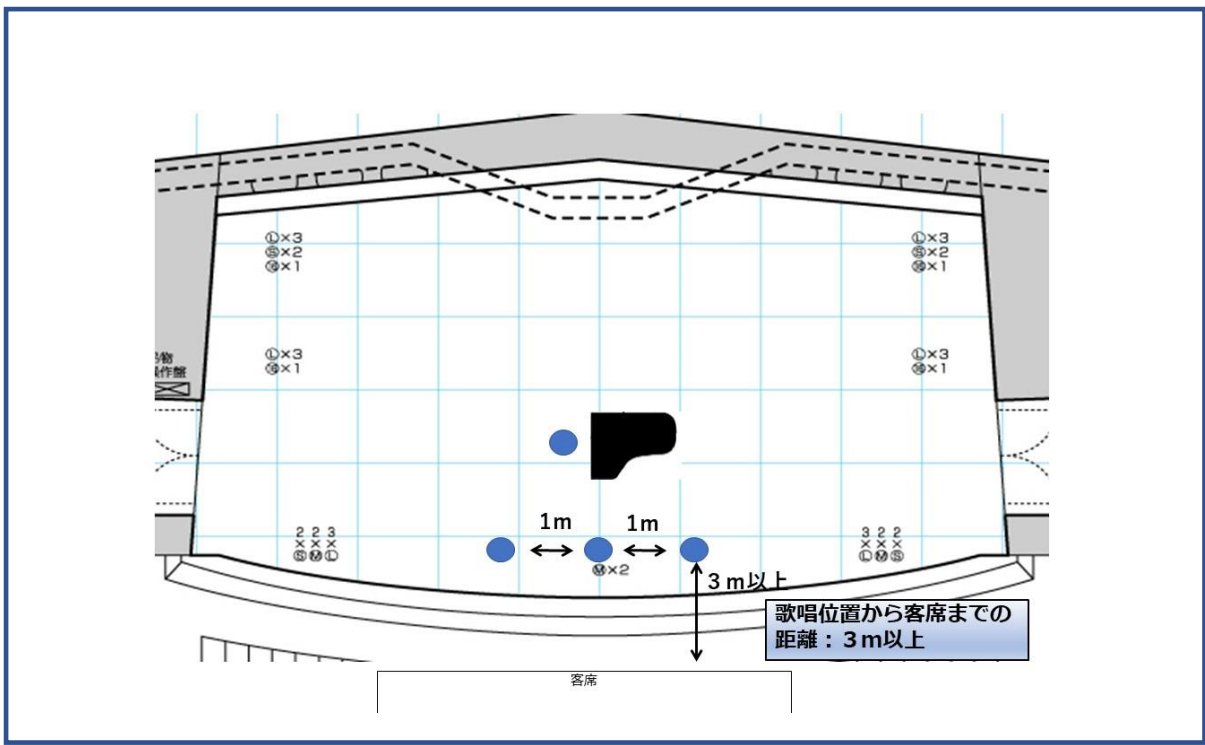
- ・オペラ等の大規模公演については、上記の器楽の対策及び声楽の対策を基本とし、演出上の工夫（歌手間の距離や歌唱方向、装置や衣装の工夫等）や舞台上の換気の確保に一層留意するなど複数の手法を組み合わせることで総合的な感染対策を講ずること。

参考 コンサートホール舞台《吹奏楽、オーケストラ》

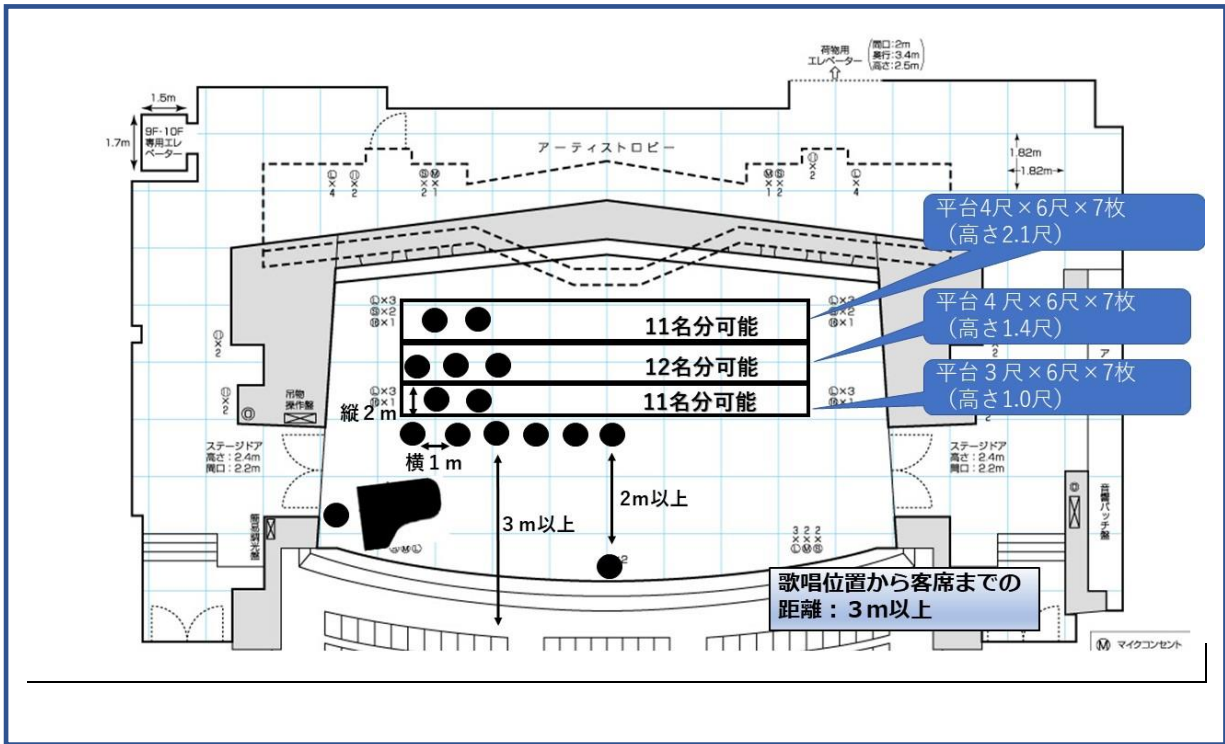
ソーシャルディスタンスを考慮した舞台配置図の例



参考 コンサートホール舞台《声乐》



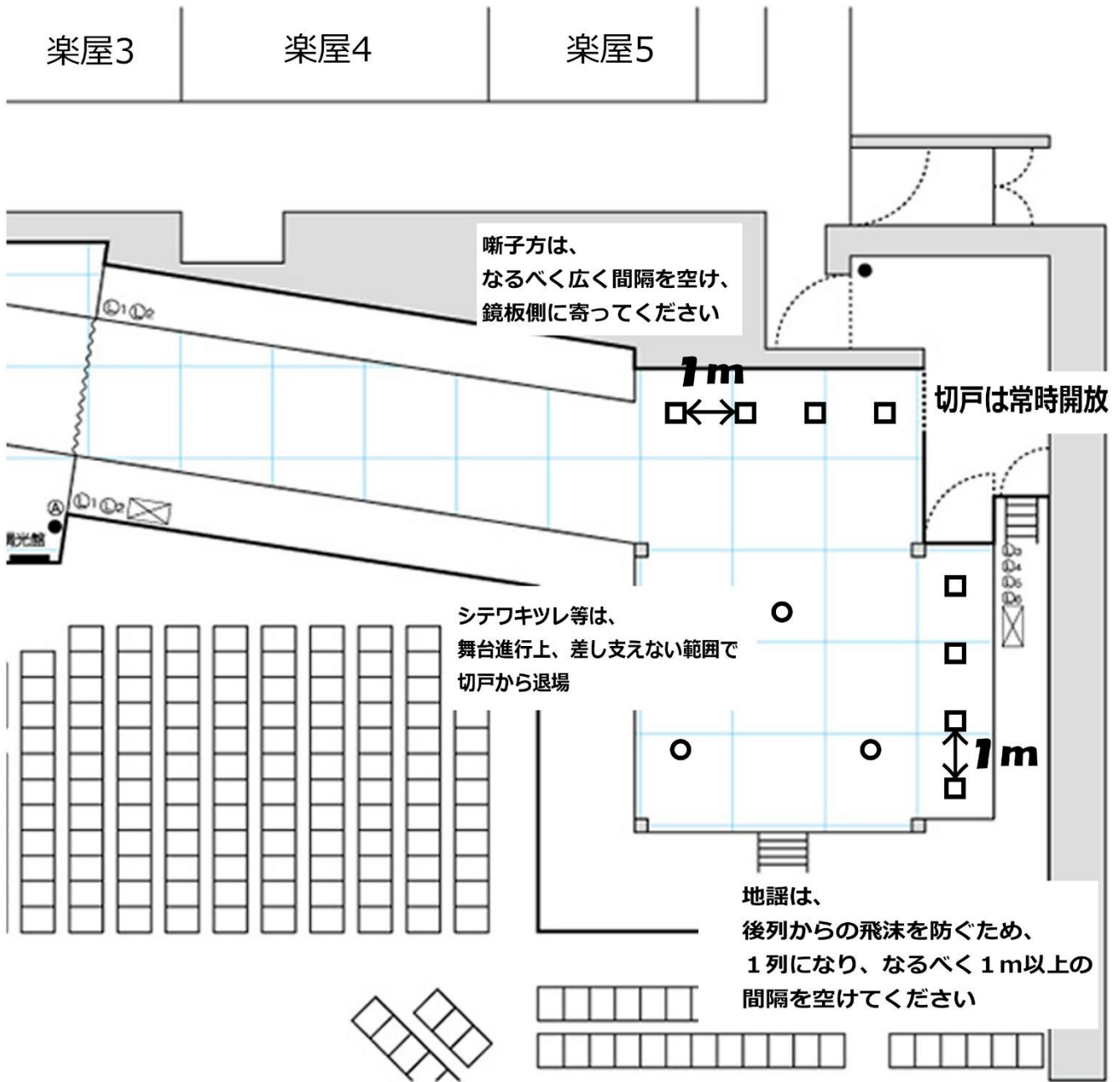
参考 コンサートホール舞台《合唱》 ※台組みをとしての配置例



参考 コンサートホール《舞台からの客席までの距離》

- ・ 舞台最前から 1 列目までの最短水平距離（舞台中央で測定：約 1 m50 cm）
- ・ 舞台最前から 2 列目までの最短水平距離（舞台中央で測定：約 2 m60 cm）
- ・ 舞台最前から 3 列目までの最短水平距離（舞台中央席で測定：約 3 m50 cm）

参考 能楽堂本舞台《能》





【指導者の空間について】

- ・指導者は対面での指導は避け、対面の場合は生徒と最低 2 m 以上空けること。  
 困難な場合は、アクリル遮蔽板の設置など同等の効果をもつ措置を講じること。
- ・指導者間についても同等の対応を講じること。

【参加者の空間について】

- ・参加者間は最低 1 m 以上空ける。但し、一定方向を向いて行う場合は特に間隔を設けずに配置することが可能であるが、常時換気、練習時以外でのマスクの着用など感染防止対策を講じること。

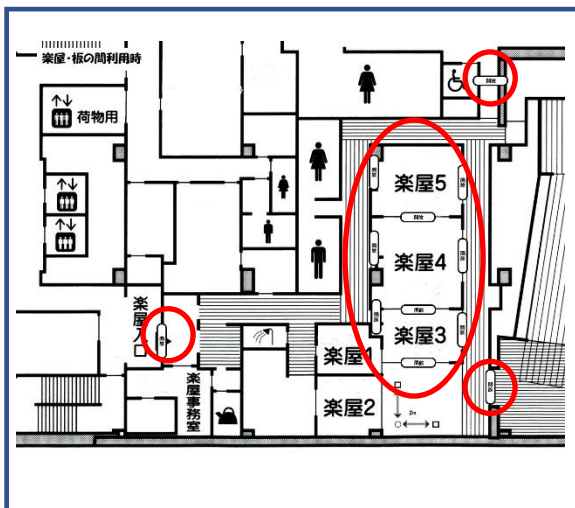
【換気対策について】

- ・交流ロビーや多目的ルーム・能楽堂楽屋周辺入口の扉は常時空けておくこと。

参考《多目的ルーム》

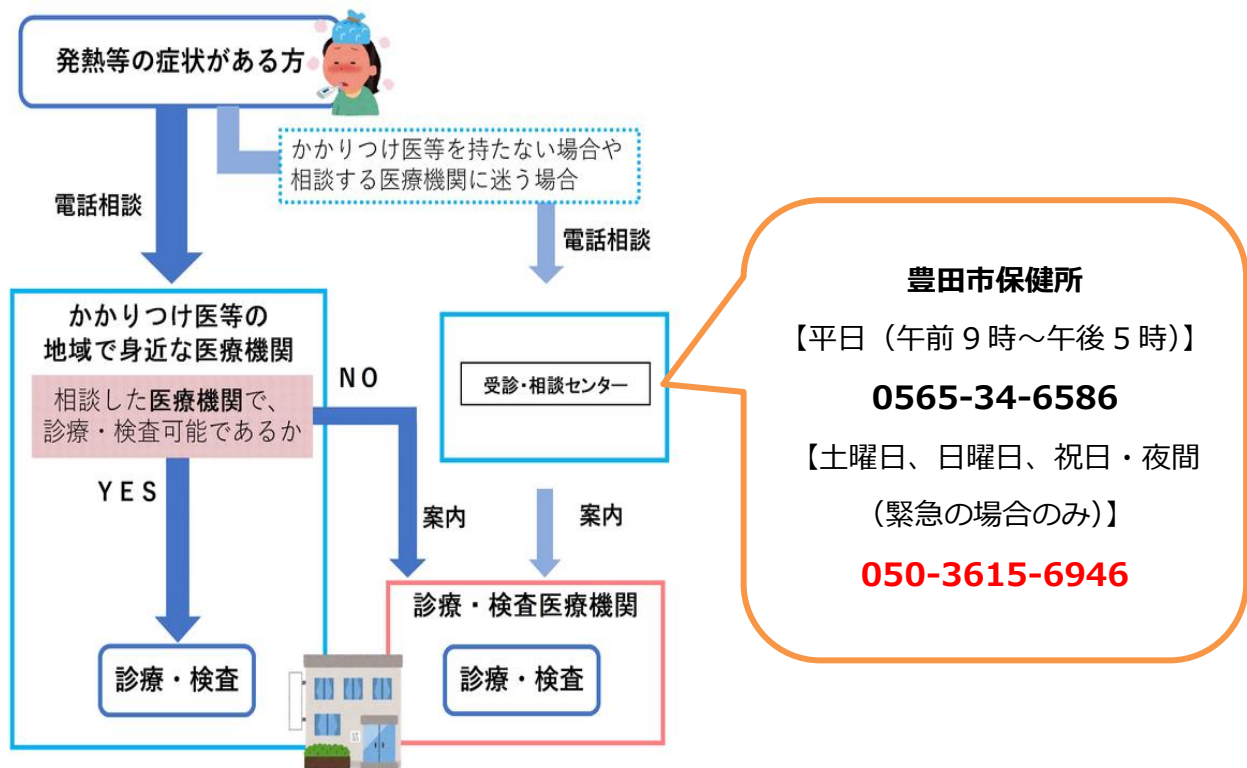


参考《板の間》



《能楽堂楽屋換気場所》

（楽屋入口 2 カ所、楽屋ふすま、鏡の間扉）



豊田市保健所以外の受診・相談センターについては、「愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト」をご確認ください。

## 来場者連絡先登録フォーム

新型コロナウイルス感染症対策  
**来場者連絡先登録フォーム**  
～感染症を予防して安心のひと時のために～

新型コロナウイルス感染者が発生した時、  
皆様に連絡をする場合がありますのでご協力をお願いいたします。

お客様情報

フリガナ
お名前
お電話番号      -                      -

**1回目**  
ご利用のお座席のご記入をお願いします。(背もたれ上部の数字をご記入ください)

\_\_\_\_\_ 列      \_\_\_\_\_ 番

**2回目**  
ご利用のお座席のご記入をお願いします。(背もたれ上部の数字をご記入ください)

\_\_\_\_\_ 列      \_\_\_\_\_ 番

<個人情報責任をもって管理いたします>

この記入票は、万一、本公演に関係したすべての方の中から新型コロナウイルス感染症  
患者が発生した場合、濃厚接触者となる方にご連絡し、感染拡大防止の目的でのみ使用さ  
せていただくもので、必要に応じて保健所等に情報提供する場合があります。それ以外に  
は使用は致しません。また個人情報については責任をもって管理いたしますので安心く  
ださい。なお、この情報は公演終了からおおむね1カ月後に破棄いたします。

ご協力ありがとうございました

開催日:      年 月 日 ( )
公演名:
問合せ先:

<b>来場者確認票</b>				
※必ずご記入ください。				
この催しにおいて、来場者などから感染症が発生した場合などは、必要に応じて 保健所等の公的機関へ提供される場合がありますのでご了承ください。その際の 個人情報については責任をもって管理いたします。				
氏 名				
電話番号				
※座席の移動があった場合はその都度記入ください。				
	1回目	2回目	3回目	4回目
利用した座席番号	列      番	列      番	列      番	列      番
利用時間	～	～	～	～
※お帰りの際に、スタッフにお渡しください。				

## 新型コロナウイルス対策 消毒部位リスト

新型コロナウイルス対策 消毒部位リスト【◎：接触とても多い ○：接触多い △：普通】

施設	接触部位	接触頻度	消毒液	消毒者			備考	
				主催者	職員	清掃員		
コンサートホール	ホワイエ	10階入口扉	◎ アルコール	○		○	※2	
		手すり	◎ アルコール	○		○	※2	
		コインロッカー	△ アルコール	○		○	※2	
		長机	○ アルコール	○			※2	
		パイプ椅子	○ アルコール	○			※1 ※2	
		掲示スタンド	○ アルコール	○				
		パーテーション	○ アルコール	○				
	客席	背もたれ	◎ アルコール	○	○		※1 ※2	
		ひじ掛け	◎ アルコール	○	○		※2	
		手すり	◎ アルコール	○	○		※2	
		扉	◎ アルコール	○		○	※2	
	ステージ	マイク類	○	マイベットの		○		※2
		講演台・司会台	△	アルコール	○			※2
		平台・合唱台	○	アルコール	○			
		オケ椅子・ピアノ椅子	○	アルコール	○			
		譜面台（奏者用・指揮者用）	○	アルコール	○			
		ピアノ	○	中性洗剤溶液		○		※2
	アーティストロビー	パイプオルガン	△	中性洗剤溶液		○		
		電気スイッチ	○	アルコール	○		○	
		机	○	アルコール	○			
		椅子	○	アルコール	○			
		ソファ	△	アルコール	○		○	※1
		内線電話	△	アルコール	○		○	
	楽屋・控室・リハ室	エレベーターボタン	○	アルコール			○	
		ドアノブ	○	アルコール	○		○	
		電気スイッチ	○	アルコール	○		○	
		化粧台	○	アルコール	○			
		机	○	アルコール	○			
		椅子	○	アルコール	○			
		ソファ	△	アルコール			○	※1
		ハンガー	△	アルコール	○			
		内線電話	△	アルコール	○		○	
リモコン		△	アルコール	○		○		
冷蔵庫		△	アルコール	○		○		
洗面所蛇口		○	アルコール			○		
給湯室備品		アルコール				※3貸出不可		
スリッパ	△	アルコール	○					
カーテン	△	アルコール			○	※1		
コインロッカー	△	アルコール	○		○			
ピアノ	○	中性洗剤溶液		○				

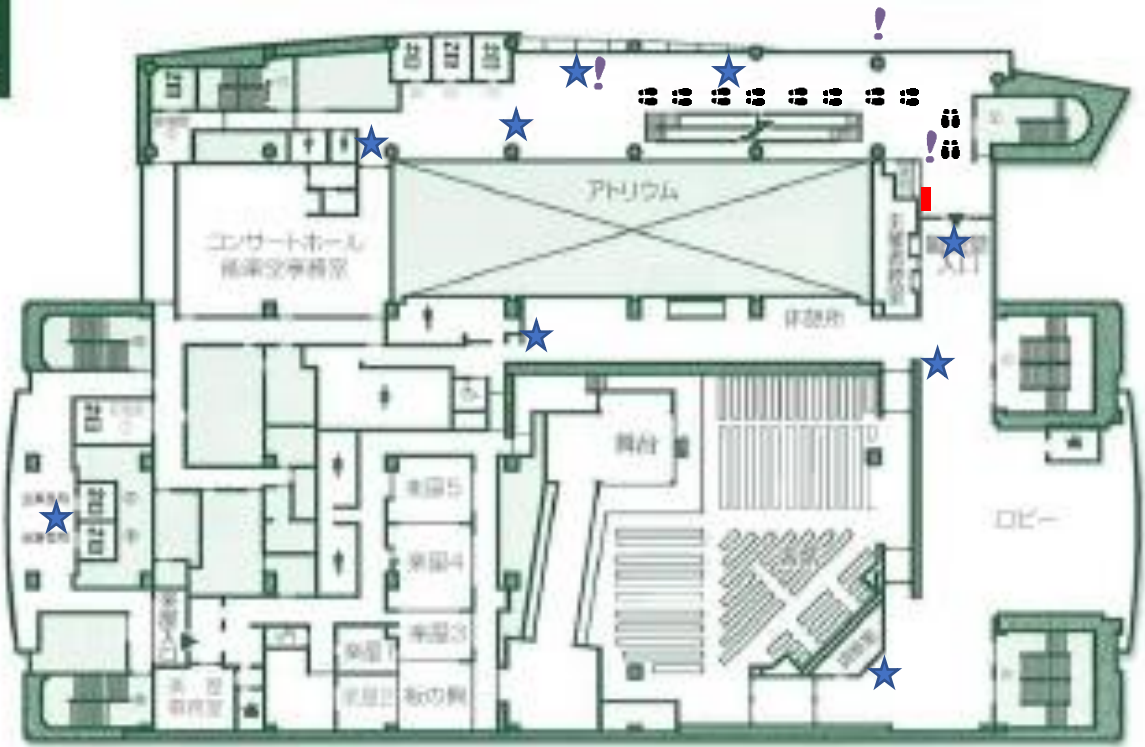
- ※1. 布材質のものはウイルスの生存期間が1時間～2日のため、消毒不要の場合があります。
- ※2. 来場者が入れ替わる2部構成以上の催しは、接触頻度の高い箇所及び、客席内の消毒を入れ替え時間内に実施してください。
- ※3. 給湯室の備品の湯呑などは貸出しを禁止します。（電気ポット、お盆は使用可能）使用後は流し台を含めて消毒してください。
- ※4. 清掃員は、巡回の清掃を定期的に行っていますが催しの時間に実施するとはかぎりません。
- ※5. 網掛けの箇所は抗菌コート施工済みですので消毒は不要です。

新型コロナウイルス対策 消毒部位リスト【◎：接触とても多い ○：接触多い △：普通】

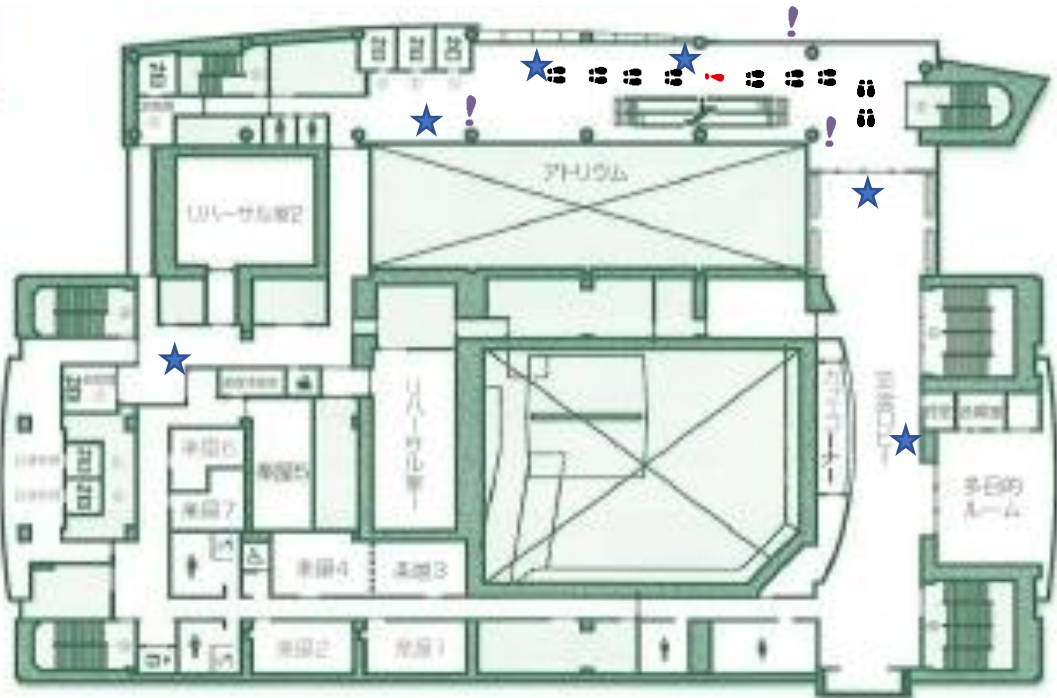
施設	接触部位	接触頻度	消毒液	消毒者			備考	
				主催者	職員	清掃員		
多目的ルーム	9階入口扉	◎	アルコール	○		○		
	交流ロビーテーブル	○	アルコール	○		○	※2	
	長机	◎	アルコール	○			※2	
	パイプ椅子	◎	アルコール	○			※2	
	掲示スタンド	○	アルコール	○				
	パーティション	○	アルコール	○				
	多目的ルーム扉	◎	アルコール	○		○	※2	
	電気スイッチ	◎	アルコール	○		○	※2	
	内線電話	△	アルコール	○		○	※2	
	マイク	△	マイペット		○		※2	
	ピアノ	○	中性洗剤溶液		○		※2	
能楽堂	ロビー	8階入口扉	△				読書のため消毒液不可（清掃のみ）	
		長机	○	アルコール	○			
		パイプ椅子	○	アルコール	○			座面は拭き上げ
		立礼机						撤去
		立礼椅子	◎	アルコール			○	
	ソファ	◎	アルコール				特注品のため消毒液不可（清掃のみ）	
	客席	背もたれ	◎	アルコール	○	○		※1 ※2
		ひじ掛け	◎	アルコール	○	○		※2
		手すり	◎	アルコール	○	○		※2
		扉	◎	アルコール	○	○		※2
	板の間・楽屋	玄関扉	○	アルコール	○		○	
		靴べら	○	アルコール	○			
		ベンチ	○	アルコール			○	
		スリッパ	△	アルコール	○			
		電気スイッチ	◎	アルコール	○		○	
		襪	△	アルコール			○	
		二月堂机	○	アルコール	○			
		給湯室備品		アルコール				※3貸出不可
		食堂テーブル	△	アルコール	○			
		食堂椅子	△	アルコール	○			
舞台	マイク	△	マイペット		○		※2	
	その他						要相談	
トイレ	扉	◎	アルコール			○		
	ペーパーホルダー	◎	アルコール			○		
	水洗レバー	◎	アルコール			○		
	身障者用トイレ開閉スイッチ	△	アルコール			○		
エスカレーター	エスカレーター手すり	◎	アルコール			○		
	EV4-6号機ボタン	◎	アルコール			○		
	鍵付き傘立て	△	アルコール			○		
	EV1・2号機ボタン	○	アルコール			○		

施設 が講じる感染対策図

8階

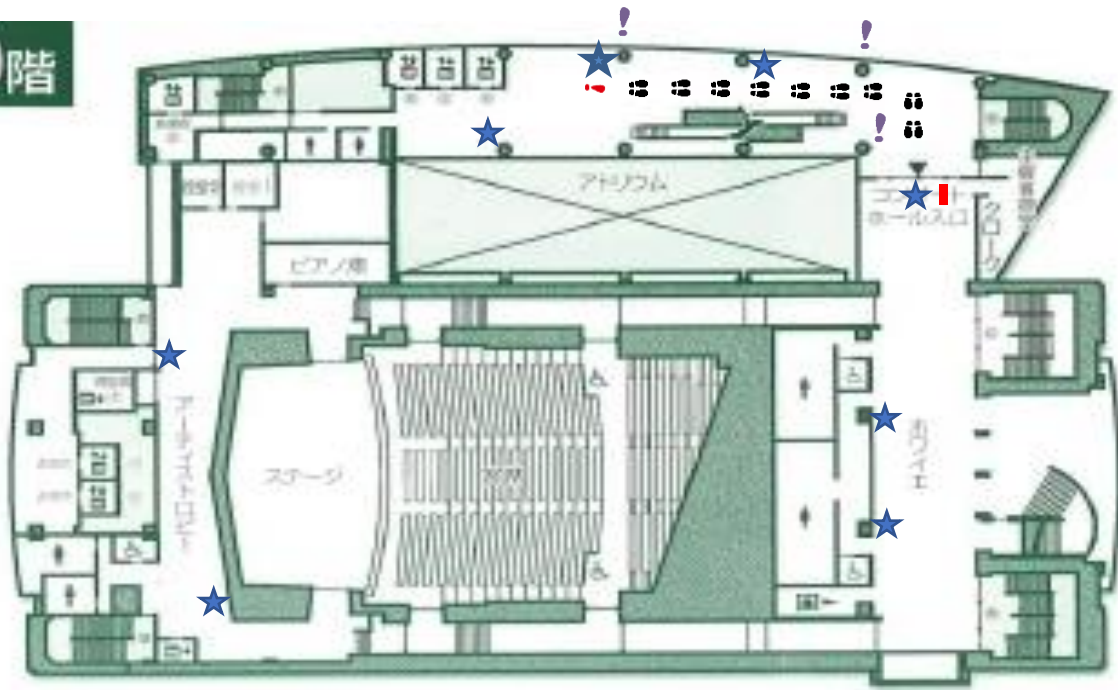


9階

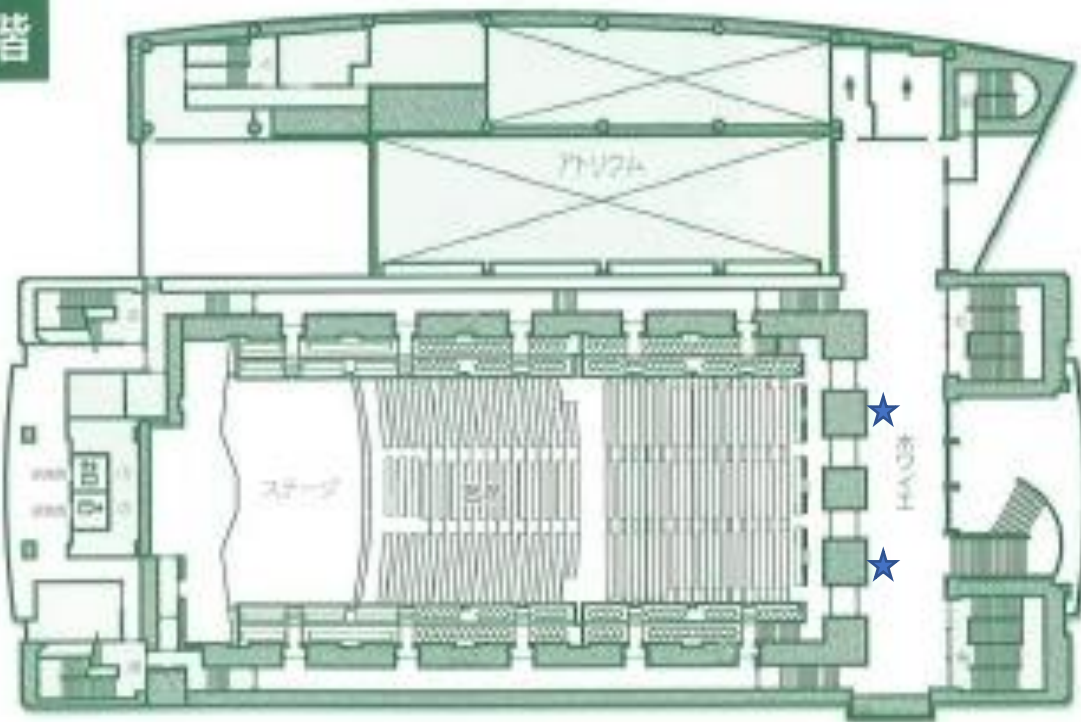


- ! 感染症対策ポスター
- ★ 手指消毒用スプレー
- サーモグラフィー

# 10階



# 11階



- ! 感染症対策ポスター
- ★ 手指消毒用スプレー
- サーマグラフィー

## 別紙9

## 関係者検温・体調管理表

公演名		年 月 日 ( )	
名前 (敬称略)	体調 (〇を付けてください)	体温	備考
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	
	良好・普通・不良	℃	